

令和 6 年度

相模原市立市民・大学交流センター

事業報告書及び収支決算書

令和7年 4 月30 日

公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム

<b>事業報告にあたって</b> .....	<b>01</b>
------------------------	-----------

## **I 地域・大学の連携事業**

<b>1 連携支援・情報プラットフォームの充実</b> .....	<b>01</b>
(1) さがまちの大学ネットワークの活用	
(2) 学生活動の支援	
(3) 交流・相談	
(4) 橋渡し（成果指標3）	
(5) 地域づくりプロジェクトの充実（成果指標4-1 4-2）	
(6) セミナー等の充実	
(7) 大学地域連携アドバイザーの設置	
(8) 大学連携情報の蓄積と周知	
<b>2 関係機関との連携</b> .....	<b>13</b>
(1) さがみはら市民活動サポートセンター	
(2) その他の機関等	
<b>3 多様な情報発信</b> .....	<b>14</b>
(1) 情報紙	
(2) ホームページ	
(3) SNS	
(4) さがまち学生クラブ等との連携によるPR動画の作成	
(5) その他	
<b>4 センター施設の活用</b> .....	<b>15</b>
(1) 大学人材の来館・交流促進	
(2) 大学情報コーナー・地域情報コーナー	
(3) 大学・学生活動のロビー等での展示	
(4) ボーノ相模大野	

## **II さがみはら地域づくり大学** .....

<b>1 地域活動コース</b>	
<b>2 専門講座</b>	
<b>3 特別講座</b>	
<b>4 コーディネーターズサークル</b>	

### Ⅲ 施設の管理運営 ..... 20

#### Ⅰ 利用サービス水準の確保および向上 ..... 20

- (1) 接遇・人材育成
- (2) 休館日
- (3) 利用の承認等に関する業務
- (4) センター利便性の向上
- (5) 利用者アンケート調査等の活用

#### 2 施設等の維持管理計画 ..... 22

- (1) 日常的な管理業務
- (2) 施設の維持管理
- (3) 施設設備の保守点検
- (4) 法令に係る設備点検
- (5) 施設の衛生管理業務計画
- (6) 消防計画における施設等点検体制
- (7) 防災のための訓練・教育の実施計画

#### 3 市内業者の活用、地元雇用への配慮 ..... 24

### Ⅳ 成果指標達成への取組 ..... 25

成果指標Ⅰ 有料施設利用率(一般)

成果指標Ⅱ 有料施設利用率(シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナー)

- (1) シェアードオフィス
- (2) 大学情報コーナー
- (3) 地域情報コーナー

成果指標Ⅲ 橋渡し(再掲)

成果指標Ⅳ-Ⅰ プロジェクトの対話(再掲)

成果指標Ⅳ-Ⅱ プロジェクト(再掲)

### Ⅴ 統計等 ..... 27

### Ⅵ 管理経費の収支の状況 ..... 31

## 令和 6 年度 相模原市立市民・大学交流センター事業実施状況

### 事業報告にあたって

令和 6 年度は、市民・大学交流センター（以下「センター」）の運営団体である公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム（さがまち）との連携強化を軸に、センターにおける「大学の存在感」の向上、センターの知名度向上等に努めてまいりました。

大学地域連携支援（橋渡し）の関連では、ソフトバンク株式会社とセンターが共催、相模女子大学の協力により、社会課題アイデアコンテストを試行するとともに、ユニコムセミナーについては新たにさがまちが社会人向けに開催する公開講座「さがまちカレッジ」と共催することにより、センターにおける学びの場を充実しました。また、オーサーズカフェでは、相模女子大学日本学国際研究所や法政大学ソーシャルイノベーションセンター（以下「法政大学 S I C」）と連携したほか、学生支援の一環として実施した学生生活動 P R 動画制作においては、青山学院大学、相模女子大学の映像制作ゼミの協力をいただきました。センター人材活用の観点では桜美林大学の江藤佑氏にセンターのアドバイザーを委嘱するなど、さがまち関連の大学との関りを築いてまいりました。

今後につきましても、さがまちのノウハウやネットワークを積極的にセンターに活用し、大学と地域の連携の充実を図ってまいります。

## I 地域・大学の連携事業

### I 連携支援・情報プラットフォーム（以下「プラットフォーム」という。）の充実

#### （I）さがまちの大学ネットワークの活用

センターにおける大学との連携に関し、様々な取り組みにおいてさがまちのネットワークを活用しました。

#### ア 事業の共催等

##### （ア）社会課題アイデアコンテストー相模女子大学

新たな取り組みとして検討するコンテストの試行として、相模女子大学の協力により参加者を同学の学生等から募りました。また試行に際しての助言を同大の小泉京美教授よりいただきました。

##### （イ）オーサーズカフェー相模女子大学日本学国際研究所

「新年を寿ぐ和歌・俳句」と題して、翻訳家・版画家・詩人である同大客員教授のPeter MacMillan氏の招請に協力いただきました。

(ウ) 法政大学SIC

同センター所属の学生によるオーサーズカフェ及びチャレンジショップを共催しました。

(エ) さがまちカレッジ

ユニコムセミナーと共催として実施しました。

イ 事業への連携・協力

(ア) まちづくりフェスタ

交流展示会及びイベントデーに協力いただきました。

・交流展示会

青山学院大学、和泉短期大学、北里大学、多摩大学、

・イベントデー

青山学院大学（2ブース）、桜美林大学、北里大学（2ブース）、相模女子大学、さがまち学生クラブ（ブース出展及び同クラブ主催「つながりマルシェ」を同時開催し、イベント連携）

(イ) 橋渡し

橋渡しに関する相談に対応いただきました。

青山学院大学、桜美林大学、北里大学、相模女子大学、女子美術大学、玉川大学、法政大学、さがまち学生クラブ

(ウ) オーサーズカフェ

オーサーズカフェ講師として登壇いただきました。

青山学院大学、麻布大学、桜美林大学、相模女子大学、女子美術大学、多摩大学、玉川大学、多摩美術大学、東京家政学院大学、法政大学、和光大学（講演は中止）

(エ) 学生PR動画制作

学生PR動画制作にあたり映像制作を扱うゼミとして協力いただきました。

青山学院大学、相模女子大学

(オ) 地域づくり大学

講師として登壇していただきました。

桜美林大学、相模女子大学さがみはら市民会議、町田市地域活動サポートオフィス、

(カ) センターとしての人材活用

大学との連携充実のため、センターにおける大学人材の活用を進めました。

・大学地域連携アドバイザー

桜美林大学リベラルアーツ学群 特任講師 江藤佑氏

・センター所長

相模女子大学（2024年度 兼任）、玉川大学（2025年度 0B職員）

## （２）学生活動の支援

### ア 学ラボプロジェクト

様々な人々を巻き込みながら学生主体でプロジェクトを実施する取り組みとして、令和6年度から学生メンバー４名でスタートしました。

ボランティア未経験の学生向けに、ボランティアの魅力を伝え、ボランティア受け入れ団体と直接交流する学生ボランティア交流会を実施（まちづくりフェスタに合わせて実施）するとともに、センターで活動する学生のPR映像を青山学院大学と相模女子大学の映像制作ゼミと連携し制作（完成したPR動画は相模大野駅サイネージで一か月間放映（３月））したほか、学ラボやYippeeの活動、インターンシップの様子などを学生目線で発信する「学生空きコマにゅーす」を発行しました。またインターンシップにおいて学ラボメンバーがメンターとして活動したほか、学生の地域活動へのスタートアップのための研究にも取り組みました。

### イ 学生団体のイベントの共催による開催

青山学院大学学生ボランティア団体fan×funが主催する子ども向けワークショップをセンターが共催しました。センターは周知や場の提供を行いました。

・7月 9日 うちわ、スライム、ブンブンごまづくり（参加：親子24組）

・3月30日 スライム、レインボースティックづくり（参加：親子16組）

### ウ 真夏のアート展常設展を学生団体と共催

夏の思い出をテーマに学生から写真を募集し、ロビーに展示するとともに、アーティストトークでは、作品を制作した学生が、制作中に考えたことやお気に入りポイントなどについて語るとともに、交流会では親子連れなども交えて、キラキラ小瓶をつくるワークショップを開催しました。

・展示 8月8日～24日

・アーティストトーク、交流会 8月18日

### エ 学生団体が企業の商品開発ワークショップに参加

12月8日、株式会社wowpが開発する一文字も入力しないお出かけアプリ「wowp（ワープ）」について、より効率的で効果的な機能となるよう利用者の立場として学生の意見を聞くため、社員と学生がアプリを使ったまち歩きを行い、事後には検証ワークショップを実施しました。

### オ 学生講師としてオーサーズカフェに登壇

オーサーズカフェに学生講師が2回登壇しました。両者ともに商品開発を行う学生団体のため、講演後、チャレンジショップとして商品販売の機会を提供しました。

○大学生がゼロから商品開発をするまで（2月8日）

明治大学農学部 食料環境政策学科 結ひ代表 高橋かのんさん

相模女子大学栄養科学部 管理栄養学科 結ひ副代表 富永晴香さん

チャレンジショップは次年度4月12日に予定。

○ゼロからつくる学生茶と自然公園～大学生のボランティア活動記録～

（3月22日）

法政大学経済学部経済学科 佐野川プロジェクト代表 瀬間 翔瑛さん

法政大学社会学部社会学科 藤野やまなみプロジェクト 島袋 光弥さん

講演後、佐野川法政茶の販売会としてチャレンジショップを開催。

※法政大学SICと共催

#### カ インターンシップの実施

##### （ア）夏インターンシップ

期間：8月1日から9月14日まで（8日間）

参加：神奈川大学 1名※1、帝京大学 1名※1、和光大学 1名※2

※1：社会教育主事実習、※2さがまちインターンシップ

概要：センターの存在意義を理解し、実習経験を通して得たことから、主体性を発揮する学生スタートアッププランを策定し、アクションプランとして提案するプログラムの提供。希望に応じて、提案プランの実践をユニコムが支援。

##### （イ）春インターンシップ

期間：2月3日から3月22日

参加：東海大学 6名※3、相模女子大学 1名※2

※3：アジア学科実践プロジェクトB授業

概要：夏インターンシップと同様

##### （ウ）窓口対応インターンシップ

期間：3月14日から19日（5日間）

参加：湘北短期大学 2名

概要：受付窓口対応の実務体験

#### キ 活動場所として学生ブースの設置・運営

さがまち学生クラブ、学生団体Yippeeが定期的に活動を行いました。

### （3）交流・相談

#### ア まちづくりフェスタ

（ア）交流展示会 10月1日から10月31日

参加：18団体

青山学院大学シビックエンゲージメントセンター、和泉短期大学、一般

社団法人Web Lamp Japan、NP0法人市民フォーラムさがみはら、絵本カフェ・チョコリラ、学生団体Yippee、学校法人榎本学園町田製菓専門学校、北里大学、公益社団法人日本オストミー協会神奈川支部、相模原市自治会連合会、相模原市社会福祉協議会子どもの居場所総合相談窓口、さがみはら市民活動サポートセンター、さがみはら地域づくり大学、多摩大学、チームユニバース運営委員会、ボランティアグループ“であいの和”、結ひ

(イ) イベントデー 10月20日(日)

参加：23団体 来場者：911名

団体名	内容
青山学院大学社会情報学部南部ゼミ	親子で工作！アップサイクル体験してみませんか？不要になった紙袋などを使って、自分だけの三角ケース、カードケースをつくろう！
さがキャンキッズクラブ（青山学院大学社会情報学部）	プログラミングでデザインしたもようをミシンで刺しゅうして、オリジナルの缶バッジを作ろう！
桜美林大学草の根国際理解教育支援プロジェクト	インドのすごろく「へびとはしご」をみんなで遊ぼう！自分で作って家でも楽しもう！
神奈川工科大学応用化学生物学科和田研究室	身近な洗濯のりとホウ砂を使って、スライムをつくろう。色を付けたり、砂鉄を加えて遊んでみよう！
北里大学看護学部×南保健センター	測ってビックリ！知って得する！骨密度測定（大人のみ）と骨粗しょう症予防のお話。ホネを強くするヒケツが分かるゲームコーナーも！
椿の学校（相模女子大学復興支援学生ボランティア委員会）	「椿の学校」では、ちぎり絵で「おおふなトンのコラージュ」を作って、震災や大船渡市について学びます。大船渡市「菓匠高瀬」による「津久井在来大豆きな粉」や「さんりく星苺」とのコラボスイーツを販売。
横浜美術大学彫刻コース	断熱材に使われるスタイロフォームで彫刻体験！好きなかたちを作って組み合わせるだけ！自分だけの彫刻を作ろう！
コムゼミ	心理学の理論を下に開発したゲーム「TAスゴロク」を使って自分では気づいていないコミュニケーションの取り方に気づき、気持ちの良い対人関係を結ぶきっかけを作るワークです。
古和楽	着物の生地をつかったかんたん工作。和布で木製ピンチを使い鯉のぼりを作ろう！マグネット付！
結ひ	数種類の食材、調味料を調合して、オリジナルのふりかけを作ってみよう！
チームユニバース運営委員会	楽しく知ろう！食品ロス。食品ロス削減についてのPRポスター作りやグッズ紹介の他、食品クイズ、香り体験。来場者プレゼントもあります。
ヒヤクキチ	財布づくり～多種多様な素材でオリジナル財布を作ろう！！
さがみはらITプログラミング倶楽部	ITエンジニア応援企画！LEDをいくつか点灯できるかな？電気の実験にチャレンジしよう！当日受付もあります。



キャリアネクストステージ	自己肯定感を育む☆マインドアップワークショップ 世界に一つのムーンスターアート/キーホルダー作成&才能発見！心理診断
さがみはら地域づくり大学ワークショップチーム	さがみはらで見つけたよ！自然の中のおくりもの。公園等で集めた木の実などを使って、素敵な壁飾りを作りましょう！
北里大学	北里オリジナル商品販売。草熟八雲牛カレー等の食品や北里大学グッズなどの販売。
さがまち学生クラブ×のあのはこにわ	北海道産小麦粉・バター・てんさい糖を使用した、からだにやさしい焼き菓子の販売。
ボランティアグループ“であいの和”	楽しいおいしい「駄菓子屋さん」。オモチャもあるよ。みんな来てね！
学生ボランティア相談・交流会	相模原市社会福祉協議会との連携による学生と団体との交流イベント
相模原市自治会連合会	自治会加入啓発チラシ配布&活動紹介。自治会グッズ等のガチャガチャあります！
相模原市社会福祉協議会 子どもの居場所総合相談窓口	子どもの居場所（市内の子ども食堂や無料学習支援）活動紹介パネル展&相談会（子どもの居場所づくりに関する質問や活動先の紹介など）
さがみはら地域づくり大学（市民企画講座）	50代から始める地域活動マッチング相談会。相模原おもちゃドクターの会（分解・組立体験あり）、市民後見人の会さがみはら、フードコミュニティ、シニア活動の森。団体による発表もあります。
NPO法人市民フォーラムさがみはら	「市民フォーラムの自己実現相談コーナー」自己発見シート先着50人にプレゼント！！

#### イ その他の交流・相談の機会の提供

##### （ア）転倒リスク評価・転倒予防技術の体験会

横浜国立大学大学院環境情報研究院島圭介教授による「転倒の仕組みからひも解く 転倒リスクとその予防」と題したオーサーズカフェの終了後、同研究室で開発した機材等を用いて、転倒防止の体験会を実施。30名程度が参加しました。（7月27日）

##### （イ）学生ボランティア交流会

学ラボが、相模原市社会福祉協議会との連携により、ボランティア未経験の学生向けに、ボランティアの魅力を伝え、ボランティア受け入れ団体と直接交流する機会を提供しました。（10月20日 まちづくりフェスタの一環として実施）

##### （ウ）さがみはら市民活動サポートセンター懇談会

同懇談会において、シェアードオフィス、橋渡し、地域づくり大学について周知するとともに、参加団体と交流しました。（2月16日）

##### （エ）法政大学SICミニ交流会

同学学生によるオーサーズカフェのあと、法政大学SICと来場者の交流の場を設けました。（3月22日）

##### （オ）シェアードオフィス利用者交流会

毎月開催し、利用者間の情報交換やセンターからの情報提供を行いました。

#### (4) 橋渡し（成果指標3）

「成果指標3」の実施件数は28件となりました（目標：28件）。

件数の内訳は以下のとおりです。

結果区分			件数合計	2024 年度 新規案件	前年度から 継続案件
相談受付件数	前年度以前からの継続		2		2
	新規		48	48	
橋渡し	指標対象	①実施済み	19	18	1
		②翌年度へ継続	4	4	0
		③実施に至らず	7	6	1
	指標外	④周知等	1	1	0
⑤相談を行ったが、橋渡しに至らず			2	2	0
⑥翌年度へ継続			5	5	0
⑦保留			7	7	0
⑧不成立			5	5	0

#### 結果区分説明

○「橋渡し」とは、団体等と大学等が、連携について協議を行う場を設定すること。

①実施済み：橋渡しにより、具体的な取り組みが実施されたもの

②翌年度へ継続：橋渡しは行ったが、具体的な取り組みは翌年度以降に実施される予定のもの

③実施に至らず：橋渡しは行ったが、協議の結果、取り組みには至らなかったもの

④周知等：団体等の要請に基づき大学等へ周知等を依頼したもの

⑤相談を行ったが、橋渡しに至らず：想定される連携先にセンターとして協議を打診したが、協議の場の設定までいかなかったもの。

⑥翌年度へ継続：センターとして相談を受けたが、タイミングや熟度により橋渡しを翌年度に実施を予定するもの

⑦保留：センターとして相談を受けたが、熟度等により具体的な橋渡しを保留にしているもの。

⑧不成立：センターとして相談を受けたが、熟度、または相談者の判断により橋渡しを実施しないと判断したもの。

2024年度橋渡し実績（主な事例）

	取り組み名等	上段：相談者 下段：協力者	備考（月次報告時点の状況等）
1	若い世代向けの骨粗しょう症予防啓発活動	相模原市南保健センター 北里大学看護学部	若いころからの予防が重要な骨粗しょう症。効果的な啓発を実施するために、南保健センターが看護を学ぶ学生とともにイベント企画運営しました。イベントはユニコムプラザさがみはらのまちづくりフェスタに参加する形で行われ、学生は、4年生は授業の一環として、2年生は有志として参加しました。当日は学生による来場者向けの骨粗しょう症の説明や「つよいほねをつくろう！」という子ども向けのゲームを実施しました。
2	大学の講義に公民館職員が登壇	青山学院大学 大野北公民館	地域課題について考える大学の授業のなかで、公民館職員とともにユニコムプラザさがみはらの職員も登壇し、講義・対談を軸とした学生達の意見交換が行われました。地域形成における大学の位置や、大学と社会教育機関との連携の在り方を考えあう大変良い機会となったとのことです。
3	神奈川県産「丹沢滋黒軍鶏」を活用したレシピ開発	(株)山路フードシステム 相模女子大学健康栄養学科本間研究室	フードサービス、レストラン・カフェ、畜産を展開する山路フードシステムが養鶏を手掛ける「丹沢滋黒軍鶏」を使ったレシピ開発が相模女子大学健康栄養学科本間研究室において卒業研究の一環として実施されました。同社から食材となる鶏肉の提供を受け、学生によるレシピ研究が行われ、1月にはレシピ引き渡しとともに試食会が開催されました。「ささみの和風キッシュ」、「鶏むね肉のサンドイッチ」、「鶏むね肉のくるみ味噌焼き」が提案され、今後、同社「カフェワイルドチキン」において、レシピの活用について検討されます
4	相模大野中央公園キッズフェスタ	麻溝公園グループパートナーズ（代表者 横浜緑地(株)） 学生ボランティア	相模原市の「子育て支援公園」である相模大野中央公園の指定管理者、麻溝公園グループパートナーズ（代表者 横浜緑地(株)）が学生ボランティアと連携した子ども向けワンデーイベントを実施。相模女子大学、桜美林大学から参加した17名は、ボール転がしや昔遊びなどのブース運営を担当しました。
5	ライトアップおおの親子deライトづくりワークショップ	麻溝公園グループパートナーズ（代表者 横浜緑地(株)） 田中敬一玉川大学学術研究所特別研究員×学生ボランティア	相模大野中央公園の指定管理者である麻溝公園グループパートナーズ（代表者 横浜緑地(株)）が冬場の暗い公園を親子でつくる温かい灯りでホッとする空間にするイベントを構想。企画、運営は、田中敬一玉川大学学術研究所特別研究員に協力をいただき、玉川大学、相模女子大学、青山学院大学の学生10名が運営サポートに当たりました。10月にワークショップでランタンを制作し12月に点灯、展示会を実施しました。

6	CSR 活動と 学生の活動 で地域課題 解決	ソフトバンク 株式会社	ソフトバンク株式会社と相模女子大学の連携 をコーディネートし、結果としてセンターも 主催者の一員に加わり、社会課題アイデア コンテストを開催しました。 コンテストはモデル的位置づけとし、同大学 の小泉教授に関係ある学生に募集をさせてい ただき、6チームの参加がありました。3月 28日にはプレゼンテーションと表彰式を行 いました。
		相模女子大学	
7	木の立体パ ズル制作	さがまち学生 クラブ企画チ ーム	相模原・町田地域を中心に街を盛り上げる活 動を行う学生団体「さがまち学生 Club」が 主催する「つながりマルシェ」において、さ がみはら津久井産材を中心としたモノづくり を行う MORIMO（一般社団法人さがみ湖 森・ モノづくり研究所）と連携。学生 Club の学 生が、作品の企画、デザインを行い、MORIMO が木材加工を担当。試作を重ね完成し、イベ ントでパズルを使用するとともに学生が MORIMO の活動の PR を行いました。
		MORIMO	
8	学校支援ボ ランティア 学生	鶴の台小学校	教員を目指す学生ボランティア（女子美術大 学学生2名、玉川大学学生1名）が鶴の台小 学校で活動しました。学生たちは、子どもたち に積極的に関わろうとする姿勢があり、子ど もにも人気で、大変よい学びの場となってい るとのことです。
		学生ボランテ ィア	
9	小田急まち だの駅弁か け紙デザイ ン	小田急電鉄 （町田管区）	小田急線町田駅の駅員さん発案による駅弁の かけ紙デザインを学生が描くプロジェクト。 これまで販売されている駅弁のかけ紙は小田 急の社員さんが描いたものですが、これを学 生が制作する取り組みです。コンペで参加を 募集し、2025年5月ごろから順次学生デザイ ンの駅弁が販売される予定です。
		美術大学学生	
10	法政大学と さがみはら 産業創造セ ンター連携 コーディネ ート	法政大学 SIC	学生活動、学生起業を支援する法政大学 SIC と起業・創業支援を行うさがみはら産業創造 センター（以下「創造センター」）の面会の 場をセットしました。これは何かのプロジェ クトを実施する等の具体的な目的はなく、 「起業」をキーワードにした意見交換として の初顔合わせの場となりました。2回目は創 造センターを見学することとし、その場での 意見交換では、具体的な連携プロジェクトの 萌芽も見えるなど、新しいつながりを作るこ とができました。
		さがみはら産 業創造センタ ー	
11	アプリ開発 に学生意見 反映	株式会社 WOWP	一文字も入力しないお出かけアプリ「wowp （ワープ）」。より効率的で効果的なアプリ となるよう利用者の立場として学生の意見を 聞くため、社員と学生がアプリを使ったまち あるきを行い、事後には検証ワークショップ を実施。「なるほど」と思わせる学生の意見 がいくつも出される有意義な場となりまし た。
		Yippee	

(5) 地域づくりプロジェクトの充実（成果指標 4-1 4-2）

以下の7事業を実施しました。

（成果指標4-1）：No1から4の4件

（成果指標4-2）：全件とし7件

No	種別	事業名/団体名/連携先/実施日	事業概要
1	新規	Yippee ふらっと meet	地域に学生の居場所をつくるために、新たな出会いや発見を体験してもらうイベントを企画し開催
		学生団体 Yippee	
		ガクマチ EXP0 参加の学生団体	
		5/19.8/18.10/19.12/13.2/22	
2	新規	食材支援学生交流プロジェクト	市の食材支援の場を通して、大学生に有効な情報と交流の機会を提供
		青山学院大学ボランティア愛好会 SIVA	
		青少年学習センター、市こども・若者支援課、近隣の大学生	
		6/15.9/21.2/15	
3	新規	WE・RECYCLE イニシアティブ	ペットボトルのリサイクルプロセスを体験することで、リサイクルの認知を広げる
		一般社団法人 WebLampJapan	
		慶應義塾大学 SFC 研究会、学生団体 Yippee、地域の市民	
		5/19.7/15.7/27.8/18.9/7.11/9.12/7	
4	新規	生活物資支援	生活に困窮する大学生向けに、生活物資の支援・配布を、学生主体で実施
		チームユニバース運営委員会	
		近隣の大学生、高校生	
		5/5.8/11.2/16	
5	展開	『みんなの居場所サロン・学びの和』	カレーを提供しながら多世代の交流サロンを開催 公衆栄養学の授業/シラバスの一貫としてのボランティア活動に対する学生の実践の場
		ボランティア団体であいの和	
		駒沢女子大学教員・学生、地域の市民	
		4/10.5/8.6/12.7/10.8/21.9/11.10/9 10/20.11/13.12/11.1/15.2/12.3/12	
6	展開	SANNO キッズワークショップ	子育て中のママを対象にした、マーケティングワークショップを開催
		産業能率大学松岡ゼミ	
		地域の学生団体	
		4/6.4/7.9/14.9/15	
7	展開	支援撮影会・職業体験	様々な事情であきらめていた七五三等の和装写真を廉価で提供する事業 職業体験ができるインターンシップ機能を付加
		着物 de 文化フォト未来事業	
		近隣の専門学校生・大学生、地域の市民	
		8/25	

(6) セミナー等の充実

令和6年度は、新たにさがまちが実施する「さがまちカレッジ」と「ユニコムセミナー」を共催で実施しました。

ア セミナー ※「【共催】」は、「さがまちカレッジ」と共催

上段：期日	上段：講師
下段：参加者数	下段：テーマ
7月24日 15名【共催】	和光大学 松村一男名誉教授 古代ギリシアの神話と星座

8月11日 20名【共催】	多摩大学経営情報学部 彩藤ひろみ教授 メタバース(仮想空間)石垣島であそぼう
8月25日 11組25名	東海大学工学部 秋山泰伸教授 ドクターアキヤマと科学の名探偵になろう～科学の力で、見えないものをみてみよう～
8月31日 12名【共催】	東京造形大学美術学科 常田泰由助教 切る／並べる／綴じる アートブックを作ろう
9月1日 36名【共催】	桜美林大学リベラルアーツ学群 浜田弘明教授 相模原周辺の伝統的地名と新しい地名
10月8日 7名【共催】	昭和薬科大学 吉永真理教授 遊びで育つ子どもたち：主体性から始まる発達のプロセス
11月30日 11名【共催】	昭和薬科大学 金本大成教授 感染症を予防するワクチン
11月30日 20名【共催】	昭和薬科大学 伊藤俊将教授 薬学講座～投与後の痛み止めの化学～
2月11日 18名【共催】	昭和薬科大学講師 神林弾氏 今日から実践！薬剤師と学 スキンケア実践講座
3月2日、9日 16日、23日 延べ69名 【共催】	東邦大学 田崎美弥子名誉教授 日本脳機能トレーニングセンター 渡辺光理所長 多摩大学 吉峯徳和名誉教授 総合診療医 川下剛史氏 創価大学 中島正世教授 ニューロフィードバック体験講座～脳の健康を守るためにできることを実践しましょう～

#### イ オーサースカフェ

上段：期日 下段：参加者数	上段：講師 下段：テーマ
4月13日 48名	相模女子大学 後藤幸良教授 平安朝の物語は春から始まる
4月27日 40名	青山学院大学 南部和香准教授 みんなで考えるサーキュラーエコノミー
5月11日 37名	相模原市立博物館学芸員 里見聡一氏 オーロラが輝く惑星“地球”
5月25日 50名	サレジオ工業高等専門学校 中山友紀教授 唾液はウソをつかない
6月8日 36名	多摩大学経営情報学部 長島剛教授 小田急沿線の地域連携とまちづくり 市民参加のための10のポイント
6月22日 30名	多摩美術大学情報デザイン学科 森脇裕之教授 意外と近い宇宙へようこそ！相模原から宇宙芸術の挑戦
7月13日 42名	麻布大学獣医学部 山本誉士准教授 動物目線の行動学～動物におしえてもらう動物のこと～
7月27日 57名	横浜国立大学大学院環境情報研究院 島圭介教授 転倒の仕組みからひも解く転倒リスクとその予防
8月10日 40名	小野路竹倶楽部共同代表 牛腸哲史氏 東京・町田発「新しい里山づくり」～放置竹林問題の解決に向けて～
8月24日 38名	女子美術大学芸術学部教授 現代美術作家 大森悟氏 既に、あなたも関わっているアートの話
9月14日 21名	桜美林大学芸術文化学群ビジュアル・アーツ専修 林秀紀准教授 檜原村トイビレッジ構想における玩具デザインプロジェクト～木育とデザインによる地域の魅力や森林資源を活かす取り組み～
9月28日 20名	青山学院大学コミュニティ人間科学部 大堀研准教授 岩手県釜石市の震災復興における市民活動

10月12日 26名	視覚障害者マラソン伴走者 青山由佳氏 パラリンピックの世界をのぞいてみよう
10月26日 19名	東京家政学院大学大学院人間生活学研究科 江川賢一教授 「食」と「健康」・スポーツ栄養の最新トピック 2024
11月12日 中止	和光大学経済経営学部経営学科 BAMBANG RUDYANTO 教授 インドネシアで最もポピュラーな日本の歌 「心の友」
11月23日 47名	相模原郷土懇話会会長・元相模原市立博物館長 大貫英明氏 相模原市制 70 周年 原野に開かれた新都市「相模原」
12月14日 50名	玉川大学芸術学部 野本由紀夫教授 名曲探偵が明かす ベートーヴェン《第九》のヒミツ Season 10
1月11日 89名	相模女子大学 ピーター・J・マクミラン客員教授 新年を寿ぐ和歌・俳句 協力：相模女子大学日本学国際研究所
1月25日 41名	早稲田大学文学学術院次席研究員（学術院講師） 石野由香里氏 他者の立場に立つ方法～演劇的手法を用いたコミュニティの変容～
2月8日 28名	明治大学農学部食料環境政策学科 結ひ代表 高橋かのんさん 相模女子大学栄養科学部管理栄養学科 結ひ副代表 富永晴香さん 大学生がゼロから商品開発をするまで
2月22日 24名	玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科 楠原竜也准教授 「アーティストとして、人と人とがつながる瞬間を生み出す」
3月8日 45名	玉川大学名誉教授、樹木医、日本櫻学会長 石川 晶生氏 「桜のはなし、木のはなし」
3月22日 45名	法政大学経済学部経済学科 佐野川プロジェクト代表 瀬間翔瑛さん 法政大学社会学部社会学科 藤野やまなみプロジェクト 島袋光弥さん ゼロからつくる学生茶と自然公園～大学生のボランティア活動記録～ 共催：法政大学 SIC

#### （７）大学地域連携アドバイザー

桜美林大学リベラルアーツ学群 特任講師の江藤佑氏をセンターの大学地域連携アドバイザーとして委嘱しました。

委嘱期間中は、面会及びメールにより、学生活動を支援するための助言をいただくとともに、3月発行の「大学地域連携事例集」において掲載した「連携検討の際の留意点」についてアドバイスをいただきました。また橋渡しについてもセンターのアドバイザーとして協力いただきました。

○任期 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

#### （８）大学連携情報の蓄積と周知

##### ア 情報の収集・蓄積

2024年度は47件の橋渡しの相談（受付ベース）がありました。それぞれについて経過を取りまとめるなど、情報の集約について試みを始めました。また、こうした連携支援に際し、団体等が留意すべき事項等について整理しました

##### イ 情報の発信

センターの橋渡し機能の周知のため好事例を事例集として発行しました（3月）。2023年度、2024年度の連携支援をした事例の中から15事例を選び、大学との連携に

際し、留意すべき事項をわかりやすくまとめました。

また、事例集発行に先立ち、さがみはら市民活動サポートセンターで開催された利用者懇談会に参加（2月16日）し、市民活動団体の皆様に事例紹介を行いました。

## 2 関係機関との連携

### （１）さがみはら市民活動サポートセンター

当センターの事業推進上の重要なパートナーとして積極的な連携を行いました。

ア 市民活動・NPO相談会の当センターでの開催に協力

イ 地域づくり大学での連携

ウ 同センター利用者懇談会に参加（当センターの取組紹介及び参加者と交流）

### （２）ソフトバンク株式会社

社会課題アイデアコンテストを共催で実施しました（再掲）。

### （３）公民館

青山学院大学の講義のゲストスピーカー（大野北公民館）について橋渡しを行ったほか、大学との連携の可能性について、館長代理（橋本公民館、大野北公民館、大野中公民館）と意見交換を行いました。また、地域づくり大学において館長等（大野南公民館）に登壇いただきました。

### （４）ヒヤクキチ

まちづくりフェスタに参加いただいたほか、今後の連携について意見交換を行いました。

### （５）南区役所

南区役所区民会議委員としてセンター職員が委嘱を受け参加しました。

### （６）社会福祉協議会

学ラボプロジェクトの「ボランティア交流会」に協力いただくとともに、まちづくりフェスタに参加いただきました。また地域づくり大学に協力いただきました。

### （７）青少年学習センター

同センターが進める無料学習支援として「おひさま学級」の当センターでの開催に



協力したほか、地域づくりプロジェクトとして実施した「食材支援学生交流プロジェクト」において連携しました。

### 3 多様な情報発信

#### (1) 情報紙

ア ユニコムペーパー

6月 2024年度地域づくり大学、橋渡し事例紹介 など

10月 まちづくりフェスタ、北里大学公開講座紹介 など

12月 シェアードオフィス、シェアードオフィス入居者「GENKIっこクラブ」、さがまちカレッジ×ユニコムセミナー など

3月 2025年度地域づくり大学、2025年度地域づくりプロジェクト紹介 など

イ 大学地域連携事例集（3月発行）（再掲）

#### (2) ホームページ

施設の紹介や利用案内、イベントの予告を行いました。

- ・施設案内、利用案内、施設予約状況
- ・センターの事業案内
- ・マルチスペースの空き状況、休館日の案内

#### (3) SNS

フェイスブック、エックス、インスタグラムにより情報発信を行いました。またインターンシップを契機に発足した学生団体Yippeeによるインスタグラムでの情報発信について連携しました。

#### (4) 学生との連携によるPR動画の制作と放映

センターで活動する学生のPR映像を青山学院大学と相模女子大学の映像制作ゼミと連携し制作しました。両ゼミ生が、学生団体Yippeeと学ラボがセンターで活動する様子などを取材し、15秒のCM形式にまとめました。完成した動画は相模大野駅サイネージで一か月間（3月）放映しました。

※サイネージで流れる広告の中で、15秒の動画2本を別々に、繰り返し放映。

#### (5) ニュースリリース

10月3日 ユニコムプラザさがみはら 2024まちづくりフェスタイベントデーの開催について（さがまち学生Club「つながりマルシェ」と同時発表）

## 4 センター施設の活用

### (1) 大学人材の来館・交流促進（再掲）

学生活動の支援や、オーサーズカフェ、セミナー、まちづくりフェスタ、館内展示などを通して、大学人材の来館や交流を促進しました。

### (2) 大学情報コーナー・地域情報コーナー（再掲）

### (3) 大学・学生活動のロビーでの展示等

#### ア 展示

(ア) 相模女子大学生生活デザイン学科 建築、プロダクト、ビジュアル、テキスタイル（通年）

(イ) 横浜美術大学彫刻専攻研究生の立体作品展示「ジンジャーさんちの収穫祭」（通年）

(ウ) 多摩美術大学情報デザイン学科による宇宙芸術展示（オーサーズカフェ講演（同大森脇教授）に合わせ実施）（6月～8月）

(エ) 和光大学芸術学科絵画展（7月）

(オ) 和泉短期大学児童福祉学科作品展（7月）

(カ) 真夏のアート展（8月）

(キ) 横浜美術大学作品展（12月）

(ク) 相模女子大学生生活デザイン学科 “ 縁JOY ” 展（1月～3月）

#### イ チャレンジショップ

(ア) 電子回路ペン 体験講座ワークショップ

実施主体：相模女子大学 夢をかなえるセンター

日時：令和6年11月30日（土） 14時から15時

概要：sagami チャレンジプログラム、理科の楽しさや魅力を学ぶ、電子回路ペン体験講座として地域の小学生に向けて実施

参加者：8組

(イ) 佐野川法政茶販売会

実施主体：法政大学 S I C

日時：令和7年3月22日 15時から15時30分

概要：法政大学 S I C 所属学生による佐野川法政茶の販売（13パック販売）

ウ 一般来館者（受験生以外向け）向け大学公開情報の周知

大学の公開講座、大学の一般向けイベント等を周知するコーナーを設けました。

エ 学生団体情報コーナー

センターを拠点に活動する学生団体Yippee及びさがまち学生クラブの情報発信コ

ーナーを設けました。

#### (4) ボーノ相模大野

ボーノ相模大野Ⅰ階通路のショーウィンドウを借り受け、イベント告知を行いました。また、オーサズカフェ等のイベントについて、ボーノ相模大野の館内放送で周知していただきました。

## Ⅱ さがみはら地域づくり大学

### Ⅰ 地域活動コース

期日	参加者数	内容
7月6日	29	<b>【キックオフミーティング（オリエンテーション）】</b> 進行：事務局 <b>【仲間を知る】</b> ○仲間づくりの、あ・い・う・え・お 講師：さがみはら市民活動サポートセンター 大谷聡穂氏
7月13日	29	<b>【さがみはらを知る】1日目</b> ①相模原の歴史を知ろう 講師：市立博物館学芸員 真壁ゆい氏 ②相模原市の人口とまちづくり 講師：政策課 板井涼介氏 ③さがみはらとシビックプライド 講師：シティプロモーション戦略課 長島正浩氏
7月20日	26	<b>【さがみはらを知る】2日目</b> ④SDGs から見るさがみはらの地域活動 講師：みんなのSDGs推進課 岩瀬貴央氏 ⑤緑区中山間地域の紹介 講師：緑区役所地域振興課 岡田隆之氏 ⑥さがみはらの環境施策 講師：ゼロカーボン推進課 中谷一生氏 ⑦相模原市の子育て施策について 講師：こども・若者政策課 土元健一郎氏
7月27日	23	<b>【市内施設の見学】</b> ①エコパークさがみはら 講師：同センター所長 笹原氏 自然環境観察員 村上治美氏〈地域づくり大学8期生〉 ②さがみはら地域活動サポートセンター 講師：同センターセンター長 大谷氏 ③社会福祉協議会 講師：同会リーダー 坂口氏
8月3日	25	<b>【仲間とともに、やってみる】1日目</b> ①情報を届けたい人を徹底的に考える「ターゲットとペルソナ」 ②思わず参加したくなるスイッチを押す言葉「心に響くキャッチコピーを作る」 講師：町田市地域活動サポートオフィス 杉山久美子氏

8月10日	22	<b>【仲間とともに、やってみる】2日目</b> ③チラシづくりのための情報整理とデザインのコツ ④まちづくりフェスタ展示物作成 講師：町田市地域活動サポートオフィス 杉山久美子氏
8月24日	25	<b>【地域活動をはじめる】1日目</b> ①地域活動へのスタートアップ1 講師：パブリックリソース財団代表理事・理事長 久住剛氏 ②-1 相模原市の協働政策について 講師：市民協働推進課 柳下陽輝氏 ②-2 公民館で始める地域活動/公民館活動の実践から 講師：大野南公民館館長 島田欣一氏 同館健康体育委員 齊藤隆氏
8月31日	26	<b>【地域活動をはじめる】2日目</b> ③大学と地域の関わりを知る 講師：相模女子大学 夢をかなえるセンター 有田雅一氏 ④地域活動へのスタートアップ2 講師：パブリックリソース財団代表理事・理事長 久住剛氏
9月28日	22	<b>【まち探検バスツアー】</b> ①森のイノベーションラボ FUJINO（高橋靖典氏） ②藤野電力「マージナル藤野」（高濱宏至氏） ③藤野倶楽部 百笑の台所（桑原敏勝氏） ④ふじのアートヴィレッジ〈見学のみ〉 ⑤STUDIO FUJINO（藤崎均氏・東川裕子氏）
12月21日	23	<b>【地域活動に関する発表】</b> ①自分プランの作成 ②自分プランの発表 講師：Happy Vision 代表 今野紀代美氏

※コーディネーターズサークル入会資格者 25名

（地域活動コースの出席が3分の2以上の者）

## 2 専門講座

### （1）テーマ実践編

#### ア さがみはら地域活動入門

期日	参加者数	内容
9月7日	12	①地域資源の発掘とアイデア整理の方法 講師：横浜商科大学 商学部 観光マネジメント学科 准教授 秋山友志氏 ②想いをかたちに！団体立ち上げと運営/資金調達方法 講師：指定特定非営利活動法人 さがみはら市民会議 副代表理事 水澤弘子氏
9月14日	10	<b>〔見学講座/ユソーレ相武台〕</b> ③地域活動の実践者に学ぶ 講師：ひばりカフェオーナー 佐竹輝子氏 ④地域協働の事例を紹介～はじめの一步を考える～ 講師：神奈川県住宅供給公社 高齢者事業部 担当部長 一ツ谷正範氏

9月21日	13	⑤アイデアをかたちにするからさがみはらマイプランから ⑥受講生の発表と意見交換 講師：横浜商科大学 商学部 観光マネジメント学科 准教授 秋山友志氏
-------	----	---

#### イ さがみはら社会起業入門

期日	参加者数	内容
10月5日	9	①社会起業の理解と事例について ②社会起業の資源獲得とビジネス・モデル 講師：産業能率大学 経営学部 教授 中島智人氏
10月12日	6	③先輩起業家に学ぶ① 講師：株式会社 beasiam 代表取締役 松川奈央子氏 ④先輩起業家に学ぶ② 講師：株式会社日相印刷/日相出版 取締役 荒井慶太氏
10月19日	7	⑤事業計画のつくりにかた ⑥受講生の発表と意見交換 講師：アイパス経営コンサルティング株式会社 代表取締役 有村知里氏

#### ウ 地域を学ぼう、守ろう～防災講座～

期日	参加者数	内容
11月9日	14	①災害図上訓練 DIG① ～地域を知ろう、学ぼう～ ②災害図上訓練 DIG② ～地域を知ろう、学ぼう～ 講師：日本体育大学 保健医療学部救急医療学科 助教 原田諭氏
11月16日	16	③避難所運営ゲーム HUG① ～避難所の運営を学ぼう～ ④避難所運営ゲーム HUG② ～避難所の運営を学ぼう～ 講師：日本体育大学 保健医療学部救急医療学科 助教 原田諭氏

#### エ 地域を学ぼう、伝えよう～シティプロモーション講座～

期日	参加者数	内容
12月7日	9	①地域の魅力やその発信方法を知る ②地域の魅力やその発信方法の具体例を知る 講師：一般財団法人地域開発研究所 客員研究員 菅原優輔氏
12月14日	8	①全国の市町村の魅力とその発信方法を知る ②相模原の魅力とその発信方法を考える 講師：一般財団法人地域開発研究所 客員研究員 菅原優輔氏

### (2) スキル習得編

#### ア SNSで地域と繋がろう～今日からできるコミュニケーション講座～

期日	参加者数	内容
10月26日	12	①コミュニケーションとしての SNS ②情報を扱う責任 講師：東洋英和女学院大学 国際社会学部 教授 小寺敦之氏
11月2日	16	①SNS 活用実践講座－Part 1－ ②SNS 活用実践講座－Part 2－

		講師：株式会社女子トク 三浦綾子氏
--	--	-------------------

#### イ ウェルビーイング向上のためのコーチング心理学

期日	参加者数	内容
11月10日	19	①コーチング心理学とは ②コーチング心理学の基本的スキル 講師：桜美林大学大学院 国際学術研究科 教授 石川利江氏
11月17日	19	講師：桜美林大学大学院 国際学術研究科 教授 石川利江氏 ①「コーチング心理学を用いた生活の棚卸し」 ②「ウェルビーイング向上をめざすコーチング心理学」

#### ウ 動画作成広報戦略

期日	参加者数	内容
11月23日	20	①(基礎知識)動画ってなぜこんなに注目されているの？ ②(動画作成術)企画・構成作りをしてみよう 講師：株式会社 TSUMUGU 澁谷航平氏
11月30日	19	③(動画制作術)実際に撮影をしてみよう！ ④(動画作成術)撮影素材を編集してみよう！ 講師：株式会社 TSUMUGU 澁谷航平氏

#### エ はじめてのマーケティング

期日	参加者数	内容
11月24日	9	①誰でもできる商品アイデア発想法～商品コンセプトシートを使いこなす～ ②顧客ターゲットと顧客理解のコツ～市場細分化と標的顧客の補足～ 講師：相模女子大学大学院 社会起業研究科 教授 金森剛氏
12月1日	9	①マーケティングの勘どころ（ポイント）：マーケティングのフレームワークとは ②顧客とのコミュニケーション戦略のコツ：商品コンセプトとメディア・リレーションズ 講師：相模女子大学大学院 社会起業研究科 教授 久保康彦氏

### 3 特別講座

期日	参加者数	内容
5月18日	21	○藤野地区 アートを活かした地域づくり（公開講座） 講師：藤野エリアマネジメント代表理事 高橋靖典氏
6月15日	93	①若者の地域参画 地域と若者で共に創る新たな地域活動のあり方（公開講座） 講師：株式会社 Saltista 橋本代表取締役有山蒔恩氏 ②さがみはらの魅力（公開講座） 講師：相模原市長 本村賢太郎氏
10月20日	101	○50代から始める地域活動マッチング相談会（市民企画講座） （出展団体/活動紹介） ・相模原おもちゃドクターの会 ・シニア活動の森

		・市民後見人の会さがみはら ・フードコミュニティ
3月16日	28	○市民協働の成功法則（市民企画講座） 協働30年の体験から学んだこと 講師：地方自治研究者・政策起業家 松下啓一氏

#### 4 コーディネーターズサークル

期日	参加者数	内容
6月15日	22	①さがみはら地域づくり大学〔公開講座&市長講演〕 ②さらに進化するコーディネーターズサークルを考えよう！
10月20日	18	○コーディネーターズサークルをブランディングしよう
1月18日	36	○コーディネーターズサークルメンバー（修了生）の話を聴こう！（テーマ：つながり） 【スピーカー】 ①デジタルコミュニティ通貨「まちのコイン」による地域社会の再構築～文化人類学的一考察～ ・北郷ありあさん（9期生/大学4年生） ②折り染めを通じた地域活動 ～人とのつながりから得たもの～ Slackを活用したコミュニティ ・萩原恵美子さん（9期生/CCメンバー）  ○6グループに分かれて話し合い実施 ×2回 （自己紹介と発表についての感想など）
1月22日	10	○多世代交流会 「いっぴいのお茶の間 ～大学生×人生の先輩～」（Yippee & 学ラボ企画への参加） ※学生団体とコーディネーターズサークルコラボ企画  ○6グループに分かれてワークショップ実施 ×2回
3月14日	14	○あつまれ相模原地域探検隊 JAXA及び市立博物館訪問

### Ⅲ 施設の管理運営

#### Ⅰ 利用サービス水準の確保および向上

##### （Ⅰ）接遇・人材育成

接遇研修 8月12日 講師 有限会社アベレ 取締役社長 蛭原恵子氏

(2) 休館日

- ・年末年始：12月29日から1月3日
- ・施設点検：8月12日（月）、2月17日（月）

(3) 利用の承認等に関する業務

条例・規則を遵守し、適切な利用承認等の事務を行いました。また、利用希望が重複する月初めは利用機会の平等性を図るため、毎月抽選会を行いました。

また、シェアードオフィスについては、電子鍵を持つ入居者のみを入出可能とするなど、安全な入退出管理を徹底しました。

(4) センター利便性の向上

利用者サービスの向上を図るため、予約管理システムを運用するとともに、公衆無線LANの提供を行いました。

(5) 利用者アンケート調査等の活用

利用者アンケートを実施し、お客様のご意見、ニーズを把握し、より快適にご利用いただけるよう努めました。また施設内に「ご意見箱」を設置するなど、日常的にご意見、ご要望を受け付けました。

○アンケート調査の概要

令和6年度のアンケート調査を以下の通り行いました。

実施期間：令和7年1月4日（土）～3月2日（日）

回収件数：584件

総合的な満足度：97.4%（令和5年度98.1%）となりました。また、昨年同様LINEアカウント登録者への調査に加え、館内掲示及びアンケート用紙へ印刷のQRコードから回答フォームへ回答を頂き、LINEと合わせて100件（令和5年度103件）の回答がありました。集計結果は、令和7年5月に公表予定です。

ア お客様の要望により改善を実現した事項

センター利用者からご意見をいただき、次のような改善を図りました。

ご要望	改善内容
開始5分前には入室させてほしい	部屋が空いていれば、利用時間5分前にはご案内するようにしました。

イ その他お客様から要望があった事項

センター利用者から施設運営に関して、次のようなご意見をいただきました。

ご要望	対応内容
ネット予約できるようにしてほしい	市の新予約システム案にも挙げられていますが、ネット予約について、検討します。



## 2 施設等の維持管理

### (1) 日常的な管理業務

業務名		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
施設保守管理業務	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
設備機器保守管理業務	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
清掃業務	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
衛生管理業務	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホームページ管理業務	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情報システム管理業務	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予約システム管理業務	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般廃棄物処理委託業務	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
機械警備業務	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### (2) 施設の維持管理

業務名		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
産業廃棄物運搬・処理業務	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特殊建築物定期検査業務	計画										○		
	実施										○		
防火対象物点検・防災管理点検業務	計画											○	
	実施											○	
電気設備点検業務(分電盤点検)	計画											○	
	実施											○	

### (3) 施設設備の保守点検

業務名		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
自動扉保守点検業務	計画		○			○			○			○	
	実施		○			○			○			○	
トイレ呼出設備保守点検業務	計画										○		
	実施										○		
空調設備保守点検業務	計画					○							
	実施					○							
建築設備保守点検業務	計画										○		
	実施										○		

(4) 法令に係る設備点検

業務名		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
消防設備保守点検業務	計画					○						○	
	実施					○						○	
害虫・ねずみ・昆虫調査・防除業務	計画	○						○					
	実施	○						○					
室内環境測定業務	計画	○		○		○		○		○		○	
	実施	○		○		○		○		○		○	
飲料水水質検査業務	計画						○						○
	実施						○						○
環境、衛生管理業務(排水管、グリストラップ清掃)	計画					○						○	
	実施					○						○	

(5) 施設の衛生管理業務(日常的な業務を除く)

業務名		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
特別清掃業務	計画					○						○	
	実施					○						○	
施設内ガラス清掃業務	計画					○						○	
	実施					○						○	

(6) 消防計画における施設等点検

ア 日常の自主点検(チェックリストを使用)

点検項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
防火対象物点検	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
避難(閉鎖)障害等	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

イ 建物等の自主検査(チェックリストを使用)

検査対象		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
建物	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
防火設備	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
避難設備	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火気設備器具	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電気設備器具	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ウ 消防用設備の法定点検・自主点検（自主点検はチェックリストを使用）

○：自主点検 ◎：自主点検と機能点検または総合点検

検査対象		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
消火器	計画	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
	実施	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
消火栓設備	計画	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
	実施	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
自動火災報知設備	計画	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
	実施	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
誘導灯及び誘導標識	計画	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
	実施	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
防火、防排煙設備	計画	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
	実施	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
排煙設備	計画	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
	実施	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
非常通報装置	計画	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○
	実施	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○

（７）防災のための訓練・教育

ア 防災教育

対象者	実施時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全職員	8月、2月					○						○	
新規職員	採用時	○					○		○				
臨時職員	必要の都度					○							

イ 防災訓練（ボーノ相模大野防火管理協議会において、合同訓練を実施）

訓練の種別	実施時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
消火訓練	9月、3月						○						○
通報・避難訓練	9月、3月						○						○
総合訓練	9月、3月						○						○

### 3 市内業者の活用、地元雇用への配慮

当施設が大型商業ビル内にあることから、スケールメリットを考慮して、清掃、保守管理、警備等についてはビル管理会社に一括随意契約としました。

令和7年3月現在、センター職員25名のうち、相模原市民は13名、近隣の町田市5名、大和市2名、横浜市1名、川崎市1名、藤沢市1名、八王子市2名となっています。急な欠勤が出た場合を想定し、速やかに対応できるよう地元雇用に配慮しました。

○管理業務の第三者委託

業務名	内容	第三者（再委託先）名	
専用管理業務		一者随意契約	野村不動産パートナーズ株式会社（市内）
清掃・衛生業務	施設内の定期清掃	//	//
自動扉保守業務	自動扉の動作確認及び点検	//	//
トイレ呼出点検業務	ボタン確認、機能確認	//	//
空調設備保守点検業務	空調システムの調整及び点検・清掃	//	//
消防設備点検業務	消防用設備の動作確認	//	//
環境衛生保守点検業務	室内環境測定、昆虫調査・防除、飲料水水質調査、排水管・グリトラ清掃	//	//
機械警備業務	施設の機械警備及び警報装置の保守	//	//
建築設備点検業務	換気設備・排煙設備・非常照明装置・給排水設備の機能点検	//	//
特殊建築定期検査業務	防火構造・避難階段等建物構造の点検	//	//
防火対象・防災管理点検業務	消防計画の履行記録確認、火災予防措置状況点検	//	//
電気設備点検業務	絶縁抵抗測定、配線端子確認、分電盤内清掃	//	//
ホームページ管理業務	専用ホームページの保守管理	//	株式会社ハイ・フィールド（市外）
情報システム管理業務	情報システム機器の保守・サポートサービス	//	株式会社スーダブル・ソリューションズ（市外）
予約システム管理業務	システムの保守・サポートサービス	//	株式会社パストラーレ（市外）

## IV 成果指標達成への取組

### 成果指標Ⅰ 有料施設利用率（一般）

利用率 令和6年度実績 57.3%（目標81%）

利用率については、コロナ前ほどの回復はありませんが、一昨年度（令和5年度）までは漸増してきました。一方、令和6年度については前年比△5%となっています。

大きく分けて3つの要因が考えられます。利用者の高齢化、料金の値上げ、コロナ禍以降のオンラインの定着化です。若い層の利用を増やす工夫や利用が少なくなっている20時以降の扱いなど、コロナ禍後の市民生活様式の変化に合わせた柔軟な対応が必要となっています。

## 成果指標2 有料施設利用率（シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナー）

### （１）シェアードオフィス

利用率 令和6年度実績 32.3% （目標50%）

利用数 16個人・団体（令和7年3月末） （16個人・団体（令和6年3月末））

6月から利用数が減じましたが、年明けから利用数が回復しました。なお、12月発行のユニコムペーパーにおいてシェアードオフィスの記事を一面に掲載するなど周知を行いました。

また、交流会を毎月開催し利用の支援を行うとともに、センターが主催する事業に関する情報を適宜提供しました。

### （２）大学情報コーナー

利用率 令和6年度実績 89.5% （目標100%）

令和7年3月末	（参考）令和6年3月末
横浜国立大学、和光大学、女子美術大学、玉川大学、北里大学、昭和薬科大学、東京家政学院大学、相模女子大学、産業能率大学、桜美林大学、和泉短期大学、麻布大学、神奈川工科大学、横浜美術大学、東京工芸大学、町田製菓専門学校、サレジオ工業高等専門学校（17大学等）	横浜国立大学、和光大学、女子美術大学、玉川大学、北里大学、昭和薬科大学、東京家政学院大学、相模女子大学、産業能率大学、桜美林大学、和泉短期大学、麻布大学、神奈川工科大学、横浜美術大学、東京工芸大学、町田製菓専門学校、東海大学、東京農業大学、横浜創英大学（19大学等）

展示物の定期的なメンテナンス、配架のアドバイスを行うとともに、オープンキャンパスや入試案内の特別ブースを設けました。なお、利用料金の値上げを契機に撤退する大学がでてきています（対前年度比3減1増）。

### （３）地域情報コーナー

利用率 令和6年度実績 91.7% （目標100%）

令和7年3月末	（参考）令和6年3月末
相模原市人材シルバーセンター、相模原市ラグビーフットボール協会、さがみはら市民活動サポートセンター、相模原市自治会連合会、相模原市まち・みどり公社、日本ユニバーサル美容協会、工学教材研究会、相模原・町田大学地域コンソーシアム（8団体）	相模原市シルバー人材センター、相模原市ラグビーフットボール協会、さがみはら市民活動サポートセンター、相模原市自治会連合会、相模原市まち・みどり公社、日本ユニバーサル美容協会、工学教材研究会、エコパークさがみはら、N相模原アレルギーの会（9団体）

展示物の定期的なメンテナンス、配架のアドバイスを行いました。なお、利用料金の値上げを契機に撤退する大学がでてきています（対前年度比2減1増）。

成果指標3 橋渡し(再掲)

成果指標4-1 プロジェクトの対話(再掲)

成果指標4-2 プロジェクト(再掲)

## V 統計等

### I 人員体制

#### (1) 職員数

区 分	令和5年度末	令和6年度	
		4月1日時点	3月31日時点
専任職員	3	3	2
嘱託職員	6	6	6
臨時職員	15	16	17
合計	24	25	25

#### (2) 配置数／兼務を含む

区 分	令和5年度末	令和6年度	
		4月1日時点	3月31日時点
運営管理者 ※	(5)	(5)	(5)
利用承認担当者	19	18	19
事業担当者	6	6	5
合計	25	24	25

※ 運営管理者5名のうち、2名は利用承認担当者を兼務、3名は事業担当者を兼務。

## 2 施設利用

### (1) 利用率の推移

#### ア 諸室

(%)

区分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
セミナールーム 1	54.6	70.9	75.4	77.9	74.3
セミナールーム 2	48.4	67.0	69.5	73.7	73.6
実習室 1	41.1	44.9	48.2	47.8	33.5
実習室 2	52.3	53.4	52.6	51.3	47.9
ミーティングルーム 1	68.2	64.8	74.6	74.7	74.4
ミーティングルーム 2	59.4	54.4	68.2	66.2	68.3
ミーティングルーム 3	56.6	58.7	68.6	65.9	66.6
ミーティングルーム 4	58.3	68.3	72.3	74.2	70.8
ミーティングルーム 5	63.1	63.8	71.9	74.0	73.2
A Vスタジオ	48.1	41.3	52.8	55.4	56.8
マルチスペース	58.4	55.2	61.1	57.8	48.5
合計	58.5	57.2	63.5	62.3	57.3

#### イ シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナー

部屋等	区分 数	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
		利用数 利用率%	利用数 利用率%	利用数 利用率%	利用数 利用率%	利用数 利用率%
シェアードオフィス 1	30	10 33.3	6 20.0	9 30.0	9 30.0	9 23.1
シェアードオフィス 2	8	3 37.5	3 37.5	4 50.0	4 50.0	4 45.8
シェアードオフィス 3	4	2 50.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0
大学情報コーナー (4 m <sup>2</sup> )	15	15 100.0	15 100.0	15 100.0	15 100.0	13 86.7
大学情報コーナー (1 m <sup>2</sup> )	—	2 —	3 —	3 —	4 —	4 —
地域情報コーナー	9	9 100.0	8 88.9	9 100.0	9 100.0	8 91.7

## (2) 利用者数の推移

(人)

部屋等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
セミナールーム1	6,957	10,990	15,476	18,974	19,666
セミナールーム2	7,293	12,874	19,341	23,447	27,232
実習室1	1,261	3,282	5,764	7,457	6,738
実習室2	3,405	4,731	6,780	8,154	8,229
ミーティングルーム1	1,269	1,838	3,159	4,294	4,570
ミーティングルーム2	860	1,273	2,411	3,506	3,507
ミーティングルーム3	1,661	2,514	4,345	5,934	5,951
ミーティングルーム4	3,593	6,142	9,416	13,221	13,582
ミーティングルーム5	2,652	3,714	6,225	8,332	8,930
AVスタジオ	1,081	1,332	2,604	3,986	3,752
マルチスペース	4,130	9,321	20,913	7,728	6,410
ロビー1	342	898	1,127	1,382	1,598
ロビー2	2,818	3,563	4,184	4,158	4,822
大学情報コーナー	412	989	1,126	972	935
地域情報コーナー	356	1,041	1,684	939	987
合計	38,090	64,502	104,555	112,484	116,909

※ロビー1・2、大学情報コーナー、地域情報コーナーについては、センター職員が1日に2回(10時と14時)、各所を利用中の人数をカウントしました。

## (3) 利用料金収入

(円)

部屋等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
セミナールーム1	2,142,556	4,250,840	6,390,118	6,308,344	7,324,998
セミナールーム2	2,868,818	6,099,614	8,443,394	8,933,784	10,076,276
実習室1	612,318	996,276	2,120,254	2,424,394	2,923,804
実習室2	1,149,750	2,006,390	2,886,763	2,788,115	2,900,560
ミーティングルーム1	220,450	403,468	565,516	521,118	671,880
ミーティングルーム2	188,307	332,358	526,786	492,232	663,300
ミーティングルーム3	414,120	687,021	1,067,430	980,934	1,357,290
ミーティングルーム4	842,112	1,659,900	2,555,190	2,553,100	3,342,969
ミーティングルーム5	494,944	880,278	1,400,438	1,390,068	1,800,320
AVスタジオ	406,827	635,052	1,111,308	1,181,400	1,594,268
マルチスペース	881,088	2,433,128	2,930,678	2,847,226	3,346,440
シェアードオフィス	265,609	340,649	508,241	535,600	520,112
シェアードオフィス	343,201	568,093	676,200	999,600	982,000
シェアードオフィス	346,948	629,626	380,400	697,400	1,329,200
大学情報コーナー (4㎡)	1,045,080	1,935,720	2,286,000	2,286,000	2,574,000
大学情報コーナー (1㎡)	35,542	97,548	115,200	153,600	196,800
地域情報コーナー	157,439	261,905	336,000	323,928	382,672
合計	12,415,109	24,217,866	34,299,916	35,416,843	41,986,889



### 3 団体登録

令和7年3月末現在：38件（前年度比△6件）

### 4 施設修繕の状況

令和6年度は以下の修繕を行いました。なお消耗品など軽微なものは省略します。

場所	設備	内容
女子トイレ	詰まりと水漏れ	水量を調整した。
男子トイレ	詰まりと汚水漏れ	水量調整とポンプの交換
セミナールーム	エアコン	経年劣化による排水不良のため、排水ドレンの清掃と排水ポンプの交換
実習室2	水栓	水漏れ改善のため部品交換
男子トイレ	排水管つまり	詰まりが再発生したため、再調査
貸出用パソコン	正常立ち上げできず	メーカー修理
シェアードオフィス3	ファンモーター	絶縁不良のため修理
実習室2	給湯器	温水が出ないため、給湯器への入水配管の油圧弁ストレーナー取り出し、点検、清掃
実習室2	給湯器	湯量が少ないため、給湯器2の点検
実習室1 ミーティングルーム3	空調エラー	点検作業
セミナールーム	ワイヤレスチューナー	受信チューナーが機能不全を起こしたため修理
実習室2	給湯器1と2	給湯器1の水漏れ修理、給湯器2への入水配管の精密点検作業
セミナールーム	ワイヤレスチューナー	受信チューナーの機能が不安定なため点検作業
休憩室	水道	水道水漏れ対応

VI 管理経費の収支の状況

2024（令和6）年度 収支報告書 <ユニコムプラザさがみはら>

2024（令和6）年4月1日から2025（令和7）年3月31日まで

【収入の部】 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	達成率 (決算額/予算額)	備考
指 定 管 理 料	30,158,465	30,158,465	100.0%	修繕費含む
施 設 利 用 料 金	44,557,681	42,005,589	94.3%	すべての施設利用に係る利用料 還付利益含む
設 備 利 用 料	2,600,000	2,305,920	88.7%	講師控室・各種設備機器に係る利用料
事 業 実 施 収 入	300,000	328,900	109.6%	センター事業収益（地域づくり大学受講料収入）
雑 収 入	480,000	373,958	77.9%	コピー機利用等
収 入 合 計	78,096,146	75,172,832	96.3%	

【支出の部】 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	達成率 (決算額/予算額)	備考
給 料	25,570,636	25,087,959	98.1%	専任職員（所長・副所長）・嘱託職員
法 定 福 利 費	4,170,640	3,805,665	91.2%	健康保険料・厚生年金保険料・労働保険料
福 利 厚 生 費	416,000	242,552	58.3%	退職給付掛金・検診費
賃 金	16,800,000	17,971,866	107.0%	
人件費計	46,957,276	47,108,042	100.3%	
消 耗 品 費	700,000	1,000,325	142.9%	事務用消耗品
印 刷 製 本 費	0	998	-	名刺印刷代
備 品 購 入 費	200,000	0	-	アクリル看板代
光 熱 水 費	6,574,344	5,531,408	84.1%	電気料・ガス使用料・上下水道料 電気代
旅 費 交 通 費	12,000	9,317	77.6%	バス、電車代、ガソリン代
修 繕 費	834,000	841,273	100.9%	
通 信 運 搬 費	445,520	491,154	110.2%	電話料・ファックス使用料・インターネット使用料等、切手代
保 険 料	65,000	62,200	95.7%	施設賠償責任保険・傷害保険
委 託 費	12,301,052	11,953,910	97.2%	清掃業務・保守点検業務・警備業務
使 用 及 び 賃 借 料	0	24,200	-	
手 数 料	233,700	202,735	86.8%	振込み手数料、カード手数料
研 修 費	20,000	5,700	28.5%	救命講習等
公 租 公 課	4,754,128	4,463,084	93.9%	印紙・消費税・法人税
雑 費	0	30	-	
施設管理経費計	26,139,744	24,586,334	94.1%	
消 耗 品 費	60,000	24,961	41.6%	事業運営用消耗
印 刷 製 本 費	116,000	81,892	70.6%	UNICOM PAPER・地域づくりパンフレット・チラシ
備 品 購 入 費	0	0	-	
旅 費 交 通 費	10,800	25,805	238.9%	バス、電車代
通 信 運 搬 費	24,000	84,064	350.3%	UNICOM PAPER送料、携帯電話・Zoom使用料
保 険 料	40,000	71,813	179.5%	傷害保険料（行事保険）
広 告 料	70,000	91,853	131.2%	
報 償 費	1,123,000	1,240,264	110.4%	オーサーズカフェ、地域づくり大学、シェアード、フェスタ、情報コーナー審査謝礼
委 託 料	409,926	626,300	152.8%	WEBサイトメンテナンス
使 用 及 び 賃 借 料	100,000	126,294	126.3%	地域づくり大学マイクロバス
手 数 料	59,000	25,685	43.5%	振込み手数料
雑 費	0	0	-	
事業関連経費計	2,012,726	2,398,931	119.2%	
支 出 計	75,109,746	74,093,307	98.6%	
本 社 経 費	2,918,000	2,918,000	100.0%	
当 期 支 出 合 計	78,027,746	77,011,307	98.7%	
当 期 収 支 差 額	68,400	▲ 1,838,475	-2687.8%	